

令和4年度 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会

と き 令和5年3月9日(木) 15:00～16:00

ところ 山口県医師会6階 会議室

[報告:常任理事 縄田 修吾]

開会挨拶

加藤会長より、日ごろからの医療安全等にご尽力いただいている郡市担当理事へのお礼、当会は早期の紛争解決ができる体制が整っている等を含めた挨拶がなされた。

報告・協議

1. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の報告

毎年12月に日本医師会館で開催されているこの協議会での、日医医賠責任保険の概要と最新の状況を説明した(詳細は本会報令和5年2月号82～85頁参照)。

2. 医師会の医事紛争対策と医師賠償責任保険

(1) 医事紛争対策

当会の委員会の取組みについて、会員からの報告と審議、その後のプロセスを解説した。

(2) 医師賠償責任保険

日本医師会の医師賠償責任保険と、山口県医師

会が損害保険会社と団体契約している医師賠償責任保険の2つを契約することで、免責無し、施設賠償もカバーされる点を改めて説明した。

3. 令和4年度受付の報告と未然防止について

令和4年度医事案件調査専門委員会で審議した事案で、議論されたポイントと結論、現在の経過等を解説した。医療事故防止のために、冊子「医療事故を起こさないために(第4版)」にある“医療事故防止の13箇条(山口県医師会)”の周知徹底を改めてお願いした。

※令和5年3月末までの受付件数:表1参照

4. 令和4年受付の窓口相談事例について

令和4年に当会で受け付けた窓口相談事例のうち、次の議題5.に関連のある「クレームに関する数件」を報告した(表2)。

5. 医療従事者への暴力と対策について

大阪ビルクリニックへの患者による放火事件や埼玉での医師銃殺事件、福岡の傷害事件が生じ、

出席者

郡市医師会担当理事

玖 珂 吉居 俊朗
熊 毛 郡 曾田 貴子
吉 南 小川 清吾
美 祢 郡 中邑 義継
下 関 市 嶋村 勝典
宇 部 市 高田弘一郎
山 口 市 竹本 成子
萩 市 森 繁広
徳 山 梅原 毅

防 府 山縣 三紀
下 松 和崎雄一郎
岩 国 市 西岡 義幸
山陽小野田 村田 和也
光 市 前田 一彦
柳 井 吉浦 宏治
長 門 市 戸嶋 良博
美 祢 市 野間 史仁

県医師会

会 長 加藤 智栄
副 会 長 中村 洋
常 任 理 事 縄田 修吾
理 事 岡 紳爾
理 事 藤井 郁英

表1 令和5年3月末までの受付件数

	R4	R3	R2		R4	R3	R2
外科	3	0	7	耳鼻咽喉科	1	0	0
産婦人科	2	2	1	救急外来	0	0	1
整形外科	2	1	1	精神科	0	2	0
内科	8	2	4	皮膚科	0	0	0
眼科	1	1	0	小児科	0	2	1
脳神経外科	1	1	1				

表2 山口県医師会相談窓口受付状況

令和4年1月～令和4年12月 (単位：件)

	平成30年	平成31年・令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
相談	19	25	32	49	38
苦情	22	17	21	22	21
その他	0	0	0	0	0
合計	41	42	53	71	59

注 平成16年度から県に同様の相談窓口が設置された

受付内容(令和4年)

項目	(前年)	相談	苦情	合計	
①医療内容、薬品、病気	14	12	3	15	
②医療機関の紹介、案内	10	5	0	5	
③医療機関の接遇	ア 医師	16	2	10	12
	イ その他	3	2	4	6
④医療機関の施設や体制	14	6	1	7	
⑤カルテ開示	4	1	0	1	
⑥医療費関係	3	1	1	2	
⑦セカンドオピニオン	0	0	0	0	
⑧その他(医療制度関係等)	7	9	2	11	
合計	71	38	21	59	

年別受付状況

分類	平成30年	平成31年・令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
男性	20	24	25	30	33
女性	20	17	27	39	26
不明(メール等)	2	1	1	1	0

電話	40	37	51	69	53
文書	1	0	1	1	1
来訪	0	3	1	1	1
メール	0	1	0	0	3
FAX	0	1	0	0	1

令和4年6月、日本医師会は、警察庁長官に「医師会及び医療機関への安全確保に資する支援」を的確に行ってもらうように要望した。この分野については、令和4年11月の都道府県医師会長協議会や中国四国医師会連合医事紛争研究会でもメインテーマとして討論されているところである。令和5年3月17日には、「医療従事者の安全に関する都道府県担当理事連絡協議会」が開かれることになっている。

なお、昨年末に行った地区警察署と郡市医師会との連携・懇談の有無に関する調査では、まだ警察からの連絡がないところもあれば、今後予定されているところ、何らかの連絡があったところ、具体的に懇談を行った医師会もあるという結果であった。今後、医療従事者の安全確保に関する対策については、医師会として、情報を共有して、検討を進めていくことが必要であると思われる。

6. その他

令和5年度の当事業に関する行事予定等及び報告時の留意点を連絡した。

閉会

中村副会長より、医療事故調査制度における死因究明のAiの重要性を含めた挨拶をもって、協議会を閉会した。

閑話求題

魅力再発見

岩国市 守田裕希子

勤務先は錦帯橋から300mの距離にありますが、あまりに近いとなかなか行かないものです。

先日、大学の友達が子供を連れて遊びに来てくれたので、久しぶりに錦帯橋を渡りました。6歳児と4歳児が錦帯橋で走り出し、手すりをもって登ろうとすると、恐ろしくて仕方がないものです。子供たちをなんとか止めようと、咄嗟に発案したのがグリコじゃんけん。子供2

人、大人2人で「グリコ」「チョコレート」「パイナップル」と懐かしのフレーズを言いながら、ゆっくりと安全に橋を渡ることができました。Wikipediaによりますと、昭和8年の新聞のグリコの広告で「東京でハヤるジャンケンのおび方」として紹介されていたようです。

子供たちは翌日ご機嫌にグリコじゃんけんをして遊んでいたそうです。普段都内で遊ぶ子供たちが公園などで浮かなければいいのですが。

錦帯橋とグリコじゃんけんの魅力を再発見することのできた1日でした。